

## 2.「大学と保護者との連絡会」への援助

### 地区会場費へ援助

#### 全体総括

- 開催期間 平成28年9月3日～10月1日
- 開催地 全国20会場
- 参加者
  - 保護者合計 学部1,492世帯(2,028名) 大学院5世帯(7名)
  - 全国各地区会場 学部 298世帯(437名) 大学院3世帯(4名) (17会場)
  - 東京・横浜会場 学部1,194世帯(1,591名) 大学院2世帯(3名) (3会場)
  - 教職員 35名(全国各地区への派遣者数)

#### 4. 今年度の結果と特徴

- 学部全体の出席者(世帯)数は1,492世帯と前年比1.0%減、在籍者数に対する出席率は21.7%と昨年より1.8%減であった。学年別では、1年生の保護者が452世帯と多いが、昨年より12.4%減、2年生が387世帯で7.2%減、3年生が428世帯で13.7%減、4年生が225世帯で10.0%減であった。
- 大会会場は、世田谷キャンパスでは前年比10.3%減で839世帯の方が出席され、横浜キャンパスでは、前年比17.3%減の210世帯、等々力キャンパスでは、前年比6.4%減の147世帯の出席者となった。
- 地区会場については、昨年と同じ17会場を設定・実施した。首都圏以外の出身の在籍生が年々減少していることもあり、今年の出席者(世帯)数は前年より10.9%減の298世帯となった。
- 保護者との懇談では、求人状況も回復傾向にあるもののUターンを含む就職関係の話題が一番関心を持たれたようであった。また、大学院進学、成績に関することや、今年度より実施のTAPIについて各会場での話題となり、個別相談も多数あった。
- 地区会場では、地区担当の理事・評議員の方々への運営等に協力をしていただいた。また、今年度も本学同窓会である東京都市大学校友会の地方支部の役員に出席願ひ、各地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただいた。
- 地区会場の声として、大学の現状や成績・学生生活・就職等の報告がなされたことについて好評であった。

詳細については、後援会誌TCU-COM55号(29年1月刊行)をご覧ください。



仙台会場

#### 大会会場 学科別出席数(世帯数)

学科	平成28年度	平成27年度	学科	平成28年度	平成27年度
機械工学科	97	105	自然科学科	29	40
機械システム工学科	100	118	環境情報学科	4	24
原子力安全工学科	35	38	情報メディア学科	1	26
医用(生体医)工学科	68	66	環境創生学科	58	52
電気電子工学科	80	91	環境マネジメント学科	41	54
エネルギー化学科	53	52	社会メディア学科	44	45
建築学科	88	102	情報システム学科	62	53
都市工学科	75	90	都市生活学科	110	111
情報科学科	79	75	児童学科	37	46
情報通信(ネットワーク)工学科	55	56	合計	1,194	1,346
経営システム工学科	78	102			

## 3.大学行事への協力援助

	大学行事名	援助対象	金額(円)
1	体育祭(5月11日～12日)	体育会	230,000
2	横浜祭(6月11日～12日)	横浜祭実行委員会	1,400,000
3	等々力祭(10月29日～30日)	等々力祭実行委員会	1,100,000
4	世田谷祭(10月29日～30日)	世田谷祭実行委員会	900,000
	合計		3,630,000

## 4.学生厚生援助

(1)「朝活応援」企画「100円朝食」の実施(2,306,900円)  
400円相当の朝食に対して、後援会、校友会、大学より100円ずつ補助(300円)を行い、3キャンパス合計23,069食を提供した。

(2)課外活動団体等の連絡用液晶ディスプレイを  
世田谷キャンパス学生食堂に設置(498,960円)



(4)学生厚生援助：課外活動団体等の連絡用液晶ディスプレイ

## 5.会誌の発行

	会誌号	金額(円)
1	TCU-COM 54号を刊行(8月中旬全会員へ送付)	1,123,200
2	TCU-COM 55号を刊行(1月下旬全会員へ送付)	2,332,800
	合計	3,456,000

## 過去5年間の在学生クラブ加入率

